

稚内の小学校で「漁業士さんの出前授業」を開催しました

宗谷管内の漁業士会と北海道水産会とで行う出前授業が、11月15日、稚内市立潮見が丘小学校でに行われました。宗谷管内漁業士会との共催による出前授業は本事業が平成22年度から始まって以来5回目になります。

講習会当日は、気温は低いものの比較的天気は良く、小学校の教室は熱気を帯び、一部の小学生は半袖で参加している子もいました。



寒くないのかな？

今回は小学校3年生が対象です。最初に、漁業士会青年漁業士石井啓太さんと本会から挨拶を行い、次に講義として「サケのはなし」を石井さんが小学生向けにわかりやすくプロジェクターを使って行いました。



石井さんの講義

子供達は、サケの漁業などを勉強した後、石井さんが行うサケの3枚おろしやイクラ作り見学しました。石井さんの出刃包丁は切れ味鋭く、サケをあっという間に3枚におろしてしまいました。子供達はその素早さに感嘆の声を上げていました。

見事な包丁捌き



次は子供達の番です。それぞれの班ごとにサケの卵が配布され、イクラ作りです。魚焼き網を使用した方法で、子供達でも上手にできました。イクラはすぐに潰からないので、翌日の給食の時間に食べることに（なーんだ！）。



手がべとべと！



簡単よ



美味しいよね



何でゴーグル？

さて、いよいよ試食時間です。石井さんが捌いたサケを宗谷総合振興局水産課のスタッフがムニエルに料理。子供達は「頂きます」を言う前に箸がのびていました。先生「まだ、まだ」、その声に箸はストップ。「頂きます」の後、一斉に試食。「美味しい」、「うまい」が飛び交っていました。



こぼさないように食べるのは難しい

最後は質問タイム、多くの質問があり、石井さんは懸命に回答。質問時間終了、みんなで集合写真を撮りました。



どうしてですか？



終わりました！